

D - O N L I N E

第20号発行者

古川・山口

奥田・高階・長崎

鯉沼・田口

京都府大学ブロック合同練習会

同志社大学京田辺キャンパスにて、3年ぶりの開催となった本行事に向け、我が部ではホスト校として部員一丸となり準備をしてきました。当日には京都府内9つの大学から指導者12名、拳士約60名が参加。大いに盛り上がり、有意義な時間を過ごしました。

はじめに、全体基本練習では京都産業大学、立命館大学、同志社大学の主将が主座を行いました。それぞれの大学の特色が表れており、とても新鮮でした。また、修練の間には京都先端科学大学の森川監督による御講話が行われました。その後は武階別術科修練を行い、最後にはレベル別に分かれての運用法の練習を行いました。

コロナ禍の影響により3年ぶりの開催となったこの合同練習会では、最初は拳士同士互いにぎこちない雰囲気ではありましたが、共に修練をしていく中で他の大学の拳士たちと和やかに交流する場面も見られました。他の大学の指導者の方々や拳士から刺激をもらうこともでき、とても有意義な時間となりました。

また、今回の合同練習会は会場が同志社大学であり、ホスト校として練習メニューの作成や会場設営、練習会の進行を行いました。当日は拳士皆が大学の垣根を越えて交流をしながら修練に励んでおり、今回の合同練習会は大成功に終わったといえるのではないでしょうか。参加してくださった大学の方々、ありがとうございました。



練習の様子

- ・京都外国语大学
- ・京都産業大学
- ・京都女子大学
- ・京都先端科学大学
- ・京都大学
- ・花園大学
- ・佛教大学
- ・立命館大学
- ・龍谷大学

参加校

OB・OG・現役合同練習会

4年ぶりに我が部の占有道場である真誠館にOB・OG・現役共に集結。様々な練習メニューにより交流を果たすことができました。

合同練習会では、動的ストレッチ、基本練習、全体術科修練、全体団体演武を行いました。基本練習では100本突きに100本蹴りを行い、ハードな練習を行いました。続いて全体術科修練では、和気あいあいとしながらもメリハリのある雰囲気の中、OB・OGの方々と現役部員が交流をしながら修練をする様子が見られました。最後の全体団体演武では20分という短い時間でしたがOB・OGの方々と交流を深めながらもそれぞれのグループが団体演武を作り上げ、一番の盛り上がりを見せました。

練習会を通して現在の部活動の様子をOB・OGの方々に知っていただき、日頃の修練の成果をお見せする事ができたと思います。

参加してくださったOB・OGの皆様、お越しいただきありがとうございました。

～第58代北田さんインタビュー～
Q.OB・OGとして初めて合同練習会に参加した感想は？

引退して1年も経っていませんが、序盤で息切れしてしまう程でした。現役の子達が普段から一生懸命励んでいることを感じ取れ、私も負けずに仕事を頑張ろうと思えました。

(第58代・北田愛さん)



団体演武

納会・新年の集い

納会では1年の節目として振り返りを行い、新年の集いでは1年の目標を部全体で共有しました。部員それぞれが自己を見つめなおし、2023年に向けて気持ちを新たにしました。

～部員インタビュー～

Q.1年間を通しての感想は？

努力が結果に結びつき、心身ともに大きく成長することができました。また、同じ目標に向かって頑張る同期や、それを支えてくださった先輩方との関わりを通じて、より信頼が深まりました。振り返ると大変濃密な時間を送ることができました。

Q.来シーズンに向けての抱負は？

全日本学生大会で入賞することが出来ましたが、今回の結果に満足せず、より高い目標に向かって地道に努力していきたいです。また後輩ができるので尊敬される先輩になれるよう精進したいです。

(鯉沼穰也・文化情報学部文化情報学科)



新年の集い

関関同立合同練習会

関関同立合同練習会を3年ぶりに開催しました。他大学との交流だけでなく、今回から初となる大学対抗の運用法も行われ、大いに盛り上りました。

本年度は関西大学にて合同練習が開催されました。笑顔があふれ活気のある修練となり、充実した時間を過ごすことができました。特に大学対抗の運用法では激しい攻防が見られ、それを応援する拳士の声や、有効打が出た時の歓声で熱を帯びました。チームメイトの声援を間近に受け、存分に力を発揮することができました。

また、全体修練では学校、武階、回生を超えての交流となり、互いに切磋琢磨し合うことができました。同じ技でも大学ごとにアプローチの仕方が異なることがあり、その違いを確認することで様々な発見がありました。時間があつという間に過ぎ、素晴らしい経験となりました。



大学対抗戦



全体会員

追い出し練習会

2022年3月4日(土)、現役部員に加え、10名を越えるOB・OGが集結。59代の4年間を労うとともに、門出を祝いました。

森岡（前主将）の主座で行われた修練では、これまでを振り返りながら全員で汗を流しました。恒例の4回生V S 下回生の運用法は熱戦が繰り広げられ、試合後にはお互いを讃えあう姿が印象的でした。2019年に入部し、2回生からコロナ禍での活動を余儀なくされた59代は、その経験をもとに「伝え合うこと」「絆」の大切さをお話しされ、後輩は真剣な顔で聞き入っていました。

また、OB・OG会長から、新OB・OGの59代へ「同期の絆を忘れず、心身ともに逞しくあってほしい」とエールが送られました。



これから社会に出て大変なこともあります、この部で学んだことを社会人でも発揮し、OBOGとしても道場や行事へ顔を出し、現役の皆さんから元気を貰いたいと思います。

(第59代・森岡勇翔)



59代の方々

夏も練習できるように！という優しさで、記念品に冷蔵庫をサプライズプレゼント！のつもりが、予定日前日に到着させてしまうおっちょこちょいな一面も。寡黙、血気盛ん、世話焼き、クール、気遣い上手、優しい、実直…。なんだかんだバランスの取れた7名がOB・OGの一員となりました。

